

目指すべき姿

輸出の拡大による我が国の農林水産業・食品産業の経営基盤の発展・強化

農林水産物・食品の輸出額一兆円水準を実現 (目標達成時期については、原発事故の影響等を考慮)

輸出戦略の具体像

戦略1 原発事故の影響への対応

国と民間が協力して、粘り強く、タイムリーに、誠実・丁寧に対応

諸外国・地域への安全情報の発信・規制緩和の強力な働きかけ

証明書の発行体制の整備など、諸外国等の輸入規制への迅速な対応

国外における風評被害の払拭、輸出回復に向けたタイムリーなPR・プロモーション

戦略2 国家戦略的なマーケティング

諸外国との競争に勝ち抜くため、品目・国別の特性・状況に応じ、明確な戦略に基づく最適なマーケティング体制・手法を構築

1. **ジャパン・ブランドの確立と輸出促進体制の整備**
 - ・品目別に、ジャパン・ブランドを確立し、国内外でマーケティング体制を整備。
 - ・国別のベスト・プラクティス・プランを策定。
2. **日本ならではのストーリーを重視**
 - ・確かな品質、丁寧なつくり方など。
 - ・文化を連想させる包装・デザイン。
3. **事業者支援の充実、サポート体制の強化**
 - ・きめ細かな事業者支援を行うとともに、ジェトロの役割を強化し、現地でのネットワークやノウハウの蓄積を生かした継続的なサポート体制を構築。

戦略3 ビジネスとしての輸出を支える仕組みづくり

輸出ビジネスを成長産業として育成していくために、ファンドの創設、産業界の技術やノウハウの蓄積の活用などの輸出を後押しするスキームを構築

1. **ファンドの創設など輸出支援スキームの構築**
 - ・有望なプロジェクトにリスクマネーを供給するファンドの創設。
 - ・産業界における技術やノウハウの蓄積を、農林水産物・食品の輸出に一層活用。
2. **輸出の拡大・高度化に向けたビジネスモデルの構築**
 - ・上記のシステムを活用して、Eコマースによる輸出など、輸出の可能性を広げる新しいビジネス・モデルを構築。

戦略4 確かな安全性・品質の確保と貿易実務上のリスク等への適確な対応

安全神話にあぐらをかいた従来の姿勢から脱却し、安全性・確かな品質を確保し、信頼を回復

1. **グローバルスタンダードの追求**
 - ・HACCPやGLOBALG.A.P等の海外で通用する安全・品質管理体制の構築を推進。
2. **ジャパブランドの保全・向上**
 - ・知的財産保護コンソーシアムの活用等により、商標権等の侵害に毅然と対応。
3. **貿易実務上のリスクへの対応**
 - ・在外公館の農務・食品担当を充実させるなど、通関や検疫をめぐる個別案件に速やかに対応できる体制を構築。

【戦略5】 海外での日本の食文化の発信

モノを売るだけではなく、日本の食文化も合わせて発信し、その素晴らしさを世界に普及 食材輸出の拡大を目指す

1. **世界無形遺産への登録**
 - ・日本食文化の世界無形遺産登録に向けて、国と関係者が連携し積極的に取り組む。
2. **観光など他分野、他産業との連携**
 - ・ビジットジャパン事業等との連携、他のコンテンツ等との組み合わせにより、日本食・日本食材の魅力を強く訴求。
3. **文化発信機能の強化**
 - ・在外公館等やジェトロ等が連携しながら、海外における日本食文化の発信を推進。
4. **世界に誇れる人材の顕彰・育成**
 - ・料理人や農業者など食文化の担い手を国として顕彰。日本食を担う海外人材を育成。